

序章 いまの僕の暮らし

ネットビジネスによって、理想としていた「自由な暮らし」を手に入れたいま、僕がどのような生活をしているのかを綴ってみたい。

羨ましいと思われるかもしれないし、たいしたことないと思われるかもしれない。

ともあれ“僕”を知ってもらうことを兼ねて、誰もが手に入れることができる「自由な暮らし」を、最初に知っておいて欲しい。

いま僕は、都心の家賃 30 万円のマンションに住み、歩いて数分のところに個室オフィスを借りている。基本的にはノマドでいつでもどこでも仕事はできるが、フリードリンクやコピーサービス、そして会議室なども利用できるため、オフィスで仕事をすることが多い。

軽いフットワークで何事にも精力的に取り組めるように、仕事と生活の環境にはこだわっている。

ストレスのかからない快適な環境は、僕にとって何より大切だ。

また、どうしても人と会うことが多いため、外出時の利便性も重視している。

本来は、人に会うのは疲れるし人混みも嫌いで、できれば都会には住みたくない。

セミリタイアしたら、地方か海外に移住しようと考えている。多分数年後にはそうなるだろう。

基本的に、お金で時間を買う場合は徹底的に買う。家事と事務雑務は外部委託。

3 駅程度の移動にはタクシーを使い、旅行や出張のときは、最も快適な乗り物の快適な席を選ぶ。

買い物は主にアマゾンと楽天。食材は宅配。ベジタリアンやヴィーガン向けのデリバリーも利用している。

もともと胃腸が弱くアレルギー体質なので、フードアドバイザーの指導を受けつつ食事に気を遣い、体質改善を図っている。

打合せや会食に出かける他は、家とオフィスとジムを歩いて移動する日々。

ジムでは主にプールで泳ぐ。広いジャグジーに入るためだけに行くこともある。

目覚まし時計の音で起きるのは、月に数回程度。日々、寝たいときに寝て、起きたいときに起きる。

あまりムラがあると体のリズムが崩れるので、睡眠は一定時間確保するようにしている。

現在2つの会社を経営していて、僕個人の会社と、母と共同経営している会社がある。
他には、社会貢献活動団体の役員になって活動を支援している。

僕個人の会社には専属スタッフが数人いて、その時々プロジェクトによって、100人以上の外注スタッフを管理している。スタッフの大半は地方在住で、基本的にフルリモートワーク。
いわゆる「オフィスを持たない会社」のスタイルだ。

僕の主な仕事は、新しい事業を立上げ、ビジネススキームを考案し、それを軌道に乗せるための人材マネジメントをすること。事業を立上げる前には、自らリサーチすることも欠かさない。
最近ではそれらの多くの部分を、育ってきたスタッフに任せられるようになってきた。

以前は、たった一人で企画から販売まで全てを手掛けていた。
ひと月に数千万円を売り上げたこともあったが、目の前の作業に多くの時間が取られていた。

しかしいまでは、僕の手を離れて人に管理を任せているビジネスや、幾つかの自動化された仕組みから、毎月売り上げが自動的に上がってくる。

仮に僕が突然仕事ができなくなっても、僕と僕のビジネスに直接関わる人たちの、向こう数年間分の収入は十分確保できる状態だ。
とはいえ、まだ隠居するつもりはない。僕個人の目標もあるので、まだしばらくは働くつもりだ。

自分の業務が、作業からマネジメントに変わったいまでも、僕は毎日ほとんどの時間を仕事に費やしている。
基本的に仕事が趣味みたいなものなので、全く苦にならないし、むしろ楽しい。

仕事に追われているわけではなく、好きなときに好きなこともしている。
時々帰省して、実家の猫と遊ぶのも楽しみの一つだ。

人と会うのが疲れる反面、人から学ぶことは好きで、稼いだお金のほとんどを学ぶことに使ってきた。
その過程で多くの人と関わり、有名人や表にはめったに出てこない影響力のある人とも知り合った。

気心の知れた仲間もでき、思い立ったら当日でも声をかけて遊びに行ったり、面白そうなことがあると教え合っている。
いままでコンサルティングしてきた多くの人達からも、わりと慕ってもらっている。

10代の頃から、ネットビジネスでそこそこ実績を出して驚かれてきた。

あれから9年も経ったというのに、未だに年齢を言うと驚かれる。

仲のいい人は、ほとんどが僕より一回り上の人たち。好みや思考が合うのだ。

好きなドラマは池袋ウエストゲートパーク。

恋愛相手にはわりと困ることはなかったけれど、ビジネスがそこそこ軌道に乗ってからは、更に困らなくなった。でも23歳のときから、本当に心が許せる人、一人で十分だと思っている。

お酒は弱いのでほとんど飲まない。これまで強要された経験もなく、未だに飲めるようになっていない。

でもお酒の席は好きなので、よく顔を出す。

酔った人を最後までシラフで介抱するのが使命だと思っている。

ハイブランドにはあまり興味がないが、誕生日や何かの記念にプレゼントされることが多いので、自分で買わなくてもわりと持っている。

知人に勧められて何の気なしに買ったものが、ハイブランドだったということも何度かある。

値段に関係なく、自分に必要で価値があると思えば、投資するスタンスでいる。

お金と心の豊かさが両方揃ってからは、感謝の気持ちを具現化できるようになったことが何よりも嬉しい。母と猫たちが住む家を買うこともできた。

何かの記念日には相手が喜びそうなものを、何でも気軽にプレゼントできたり、仲間が困っていたら助けることもできる。お金と心があれば、人にいろいろなことをしてあげられる。

僕のような生き方を、人は羨ましがり、実現したいと願っている。

そんなに難しくはないのだ。本気でやれば、誰でも僕のような「自由な暮らし」を叶えることは可能だ。

成功に才能は必要ない。「努力できることも才能」などと言われるが、僕にしてみれば人生はゲームのようなもので、「スーパーマリオ」のゲームをやっているのと変わらない。

ビジネスは、ゲームの中のお金がダミーか本物かの違いだけだ。

熱量高く、世界を変えたいとか、多くの人を救いたいという気力はあんまりない。

でも、せっかく稼ぐ力、人を動かす力を手に入れたので、少し誰かの役に立てれば良いと考えている。